



4/23 模範となる地域貢献を称えて

令和8年度浦添市民憲章実践者表彰式が市役所9階講堂で行われました。この表彰は、浦添市民憲章において「自然愛」「人間愛」「遵法・公德心」「勤労・健康」「平和・文化」のそれぞれに積極的な推進・実践活動を称えたもので、今回は個人22人と7団体が表彰されました。

受賞者代表あいさつでは、勢理客自治会の今井朗さん(前列左から4人目)が「浦添に住んで30年。子どものPTA活動をきっかけに始めた民生委員は10年になり、地域や人のための活動が自分が楽しく過ごすための活動になっている。これからも浦添のために少しでも役に立てればと思う。本日受賞された皆さまと日頃から活動されている皆さまのより一層のご活躍を期待しています」と述べました。



5/8 助けあいの“ちむぐる”を地域に

「人間を救うのは、人間だ。」をスローガンに、災害救護や街頭募金活動など幅広いボランティア活動をしている日本赤十字社の「浦添市赤十字奉仕団 会費募集出発式」が、市役所市民広場で行われました。

宮里時子委員長は、「本日の出発式から約3ヶ月間、市内企業を訪問し、会費を募集してまいります。地域でも寄付金のお願いがあると思います。ご協力をお願いします。」と、赤十字活動に必要な募金への協力を呼びかけました。

毎年5月は赤十字運動月間となっています。集められた会費や寄付金は、国内外での人道支援のために役立てられます。皆さまの温かいご支援をお願いいたします。



4/17 「片付け」が「つながり」に変わる♪

「第2回おさがり会in浦添」が市役所9階ロビーで開催されました。本イベントは、子育て世代の使わなくなった衣類や育児用品などを持ち寄り、必要とする人へとつなぐ取り組みで、整理収納アドバイザーの合田千紘さんが保護者の声をもとに企画しました。

今回は、平日にもかかわらず浦添市内外から約400人が来場し、おさがり品は事前回収および当日持ち込みを含め、113世帯から提供がありました。来場者からは「子ども服はすぐにサイズアウトするので助かる」「売るのは気が引けるが、必要な方に譲れる場ができて嬉しい」「今回は受け取る側だったので次回は提供したい」といった声が寄せられました。



4/18 “地球の日”海を想い綺麗に

4月22日のアースデイ(地球環境について考える日)に合わせ、浦添の西海岸・里浜を清掃するイベント「アースデイ2026inうらそえ」が開催されました。

市の呼びかけに約100人の親子連れや企業の皆さんが参加し、パルコ前、カーミージー橋下の海岸、カーミージー浜の3か所で、1時間半ほど海岸へ漂着したプラスチック製品やタバコの吸い殻などのゴミ拾いを行いました。

ビーチクリーンにお父さんと参加した、久根次咲美さんは「落ちていたゴミがたくさんあった。拾いながら、海の生き物がゴミを食べなくて済んでよかったと思った。これからも海をきれいにするために、進んで参加していきたい」と笑顔で話しました。



「うらみーぐる号」実証実験が始まりました

高齢者の通院や買い物などに必要な足は、市全体でも課題になっています。まずは地域住民でできる身近なことから取り組んでみよう、安波茶・茶山自治会で通いの場(気軽に集まり過ごせる交流の場)に高齢者を送迎する実証実験を始めました。

車両は沖縄トヨタグループよりご協力いただき、「浦添を巡る」意味を込めて「うらみーぐる号」と名付けました。また、この活動を支えるためうらみーぐる号以外に、市内に3台のトヨタシェアカー(みんなの足)を設置しました。利用料金の一部がうらみーぐる号の活動に充てられますので、ぜひご利用ください。詳しくは写真上部にある二次元コードからご覧ください。



4/15 新クリーンセンターの建設始まる

中城村および北中城村と共同で整備する(仮称)浦添市新クリーンセンターの建設工事の起工式が執り行われ、浦添市長、北中城村長、中城副村長をはじめ、浦添市議会議員、両村議会議員、施工関係者等47人が出席し、工事の安全を祈願しました。松本市長は「市長就任時から早期整備が大きな課題だった。両村の協力のもと長い期間を経てようやくスタートに立てた」と事業の経緯に触れ、「新クリーンセンターは単なる焼却施設ではなく、新しいエネルギーを生み出していく場所となることを望む」と展望を述べました。

建設工事は令和11年3月完成予定で、安全な工事の推進に努めていきます。



4/6 交通事故ゼロへ!交通安全運動出発式

4月6日から15日までの10日間、「車からぼくたちみえない手をあげよう」をスローガンに「春の全国交通安全運動」が全国一斉に実施され、市役所市民広場で行われた出発式では、浦添地区交通安全協会など関係団体や関係者、約80人が参加しました。浦添警察署の吉元隆署長は「悲惨な事故を1件でも減らすため、各種交通事故防止対策を強力に推進していきます。皆さまには地域をあげて、交通安全活動をしていただきますようご協力お願い申し上げます」と述べました。

全国共通の目標として「通学路・生活道路におけるこどもを始めとする歩行者の安全確保」「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全運転意識向上」「自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底」を挙げています。